

【宮崎県納税貯蓄組合連合会会長賞】

私達がつくる私達の生活

川南市立唐瀬原中学校

三年 大山 詩乃

税金は、「経済の血液」とよく聞きますが一体どういうことなのでしょう。

税金は、自分が買いたいと思ったものや受けたサービスなどの値段に+して集めたり、仕事やアルバイトで働き、そこから得た収入から集めたりします。私の両親が、

「一生懸命働いているけど、税金が沢山引かれるから残るお金が少ない。」

と言っているのを耳にしたことがあります。これらのことを聞くと、税金に悪いイメージしかつきませんが、“税金ってすごいんだ”という良いイメージがつくことも沢山あります。例えば、コロナウイルスのワクチンです。ずいぶん前ではありますが、ニュースで日本がベトナムや台湾などに大量のワクチンを寄付したことを知りました。もちろん、これにも国民の税金が利用されており賛成派と反対派に分かれていました。ちなみに、私は賛成派です。なぜなら、私達の納める税金が多くワクチンへと姿を変え、どこかの国、地域で誰かの尊い命を救っているからです。命が一つ助かるのなら、いくら税金を出したっていいなと私は思います。話は少しそれますが、日本が寄付したベトナムや台湾は、前に日本が災害で苦しんでいるときに支援をしてくれた国だった。だから、そのお返しということで寄付したそう。私はこのことにとても感動した。この国と国の支え合いがもっと増えていくと良いなと思います。他にも、税金は、一日の生活の中で沢山関わっています。流れで説明すると、朝学校に通うときには、安全に通うための道路や信号機が。授業では、学校などの教育施設や机、椅子、教科書が。放課後では、部活をするための体育館やグラウンド、部費などが。夕方に家まで帰るときは、安心して帰れるよう警察や消防があります。本当に身の回りには税金によって成り立っているものが沢山あります。

今回、税について知っていくなか、税は経済を回していったり、安心、安全な生活をしていく上でとても重要だということを学びました。まさに、税金は「経済の血液」だなと思いました。